

琉球大学学術リポジトリ

日米関係（沖縄返還）47

| | |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
| メタデータ | 言語: 出版者: 公開日: 2019-02-14 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属: |
| URL | http://hdl.handle.net/20.500.12000/43847 |

三木・ジョーンソン(不使)合券

(昭
4.3
8
20
)

米國は冷戦や朝鮮で多大の犠牲を構つて来た。
highly wrongfully にそれは日本に押しつけられた
思つてゐる。米國は朝鮮で山よ. 3. 5. 8. は包はな. 1. 4. 7.
少くとも 理解と支持は期待する。

来るのを憂懐している。先々の不念が 協理及
か大臣が 迷つたところは大いに多と
る。友好関係は相互に造り上げて行くもの
ある。

冷戦新章に因り、米國は、支持とさうこと
ないまでも、米國のやうなことは少くも

理解を与へらうこと期待する。この点で米
國が 進むと為すことが あるか。

大臣 - 3月の大隈経声の出来は、12月
冷戦新章批判は 差しくおさまつて来た。

問題は 名称西軍軍を 一より早く達成する
ことである。そのためには 1958年 専断協定
~~協定の締結を促すこと~~

精神に依り、北軍は北軍に引揚ぐ。時期
はか、つて、米軍は引揚ぐ。南北両派の併

存、軍隊管理、を實施することである。

大臣 - それに反しく米國が 望み且努力して
いることあり、1年かからその趣旨を明確に

に呼びかけると。

大臣 - 北軍停止が 内容であるか、之を實施
することは出来ないものか。

大臣 - 3月の声以来、北の浸透は従来の
最悪に達している。北が 交換に依るべき

にたつて来たと判断する材料はない。現に
北側の 大改革を 予望せざるを得ない状

況である。

大臣 - 北が大改革に 進んでくれば、又
交渉するに、北の 世号と議は、北に

批判的にならう。その旨は半圓はもつと
宣旨すべきではないか？

大隈 - 大隈は、不防も友、不難も友と声を大
にして大言勢あるべきことを述べた。

大隈 - 最近の新聞で我方大使と北越の接触
が少しよくなった。北も何か言っているの
ではないか？

大隈 - 左様な新聞で、大隈の今迄と
たがひたしと平和に内なる日本の言方を北
越に伝えたい。裁けよなり、有差ありと思
ふ。即ち、北の言を言っていると言ふ事
が分れば、日本の政策決定の一つの材料
となるであろう。

大隈 - 右様な北に左様な言をすべし。

大隈 - 北は、たがひたしと平和に内なる日本の言方を北
越に伝えたい。裁けよなり、有差ありと思
ふ。即ち、北の言を言っていると言ふ事
が分れば、日本の政策決定の一つの材料
となるであろう。

大塚 - 甚だ的に必要なるの件を確信に付て之を
必要とする。此は日本政府の問題

である。

○ 大塚 - 現在の基地は非常事態の必要を考慮に入
れざるに付て事実上は、済済の施設のみを

在現在使はたいがと云つて、遂に非常の情
況の必要が充足せざるは、固きのである。

大塚 - 甚だ的の問題を二三お話し。

○ 70年迄は ~~自~~ 自給継続を考へて、よか
半物も同様と見、これに両政府が如何に

子形を意見表示するのによいか。

大塚 - 有り得ることを示す。

大塚 - 何れも、事柄の整理と新大塚の合致す

3とすれば、その2は25に72に2とが一筆と見
る。

大塚 - 此種である。

○ 大塚 - 甚だ的に以前に措置を必要とする政治
状態をなれば、その際、お打合せするに付て

沖縄を以て、その物の表の時期は、12月29
御考如何

○ 大塚 - 10月迄と考へて、よい。

○ 大塚 - ^港 事柄の問題の半物問題は、秋分迄
設備の完成を促つての方によいか、それ

かの方によいか。

大塚 - 半物については、何れによいか、但し、御考
設備については、事柄の整理と新大塚の合致す

12

以下 右の問題 (大元より、日本では之を以て
 人権の尊重と云ふ) 丁文の流れと解し、若くは
 全め 極まで 右の立場を主張せし、ア2ハ2
 (10) 子より 控留問題に大元を向心せしが
 手紙に云ふ大元より、今後、内容を認め、
 米米大臣は、是等、黒人問題 尋ねて
 親近の意見に交際し、合流を了す。

GA-6

外務省

秘密表示 (朱印)
 極 秘
 まで
 1 部の内
 号

館長
 直披

| 部数指示 | 発信用 | 執務用 | 備考 |
|------|-----|-----|----|
| 主 信 | / | / | 2 |
| 件 | | | |
| 以 | | | |

発送日 昭和43年8月27日
 処理日
 発信 校

文書課 公 信 案 (分類)

| | | | |
|---------|-------------------------|---------|-------------|
| 公 信 番 号 | 北 第 1292 号 | 公 信 日 付 | 昭和 43年8月26日 |
| 夫 一 任 | 主 管 | 起 案 日 | 昭和 43年8月26日 |
| 課 長 | アメリカ局長 | 起 案 者 | 東京 672 |
| 課 長 | 参 事 官 | 電 話 番 号 | |
| 課 長 | 北米課長 | | |
| 課 長 | | | |
| 課 長 | | | |
| 協 議 先 | | | |
| 受 信 者 | 在米下田大使 | 発 信 者 | 三木大臣 |
| 写 送 付 先 | | (希望発送日) | 8月26日 |
| 件 名 | 本大臣とジョソソソ駐日米國大使との会談記録送付 | | |
| GA-2 | 26.224 | 外務省 | 回覧番号 |

米北米ノ292号

昭和43年8月26日

在米大使殿

外務大臣

本大臣とジョリソン駐日米國

大使との會談記録送付

本大臣は8月20日、ジョリソン駐日米國大使と内々會談したところ、右會談記録貴使参考までに一部別添送付する。なお、本會談は外部には公表しおさるにつき、本件取扱いには十分の留意ありたい。

GA-4

外務省

おつ、一部新聞が本件會談の開催を簡単に報じた経緯があり、右につき外部より質問を受けた場合は、本會談は最近の情勢に關する一般的な意見交換であると説明する予定につきお含めありたい。

付屬添付

GA-4

外務省